

入場
無料

いま、希少種があぶない!!

希少種とノネコ・ノラネコ シンポジウム開催

東京会場

3月1日(日)
13:00開始
(12:30開場)

定員 280名

大阪会場

3月8日(日)
13:00開始
(12:30開場)

定員 230名

※定員を超える場合、入場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。



希少種を守るために、私たちは何をすべきかを考えます。

北海道の天売島、東京都の小笠原諸島、鹿児島県の奄美大島や徳之島、沖縄県のやんばる地域などにおいて、ノネコ等が、希少な野生動物を捕食してしまうなどの様々な悪影響を与えており、大きな課題となっています。ノネコ等は、元々はペットで、飼い主の都合により捨てられてしまった不幸なネコたちです。一方で、絶滅が心配される希少種が多く生息し、将来にわたり豊かな自然環境を守っていくべき地域では、ノネコ等の影響を取り除いていく必要があります。

今回のシンポジウムでは、ノネコ等が希少種に与えている影響を広く皆さまに知っていただくとともに、この問題の解決策について議論していきます。多くの方々のご参加をお待ちしております。

プログラム

1	開会	
2	基調講演① (40分)	「奄美大島・徳之島における希少種アマミノクロウサギへのノネコ、ノラネコの影響」 山田文雄 森林総合研究所特任研究員
3	基調講演② (40分)	「希少種生息地におけるネコ対策 ～沖縄の事例を中心に～」 長嶺隆 NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄 理事長
4	休憩（質問票の受付）	
5	パネル ディスカッション (80分)	「希少種を保全していくためのノネコ、ノラネコ対策」 コーディネーター：石井信夫 東京女子大学 パネリスト：山田文雄 森林総合研究所 長嶺隆 NPO法人どうぶつたちの病院 香取章子 フリージャーナリスト 安田直人 環境省希少種保全推進室
6	閉会	



森林総合研究所
特任研究員

山田 文雄

専門は野生動物の保護管理研究。アマミノクロウサギ研究に1990年代から従事。外来種問題にも取り組む。日本哺乳類学会保護管理専門委員会委員長などの委員。



NPO法人どうぶつたちの病院
沖縄 理事長

長嶺 隆

沖縄県うるま市生まれ。小動物臨床の獣医師。ヤンバルクイナなど沖縄の希少種保全にかかわるNPOを設立。犬1匹ネコ2匹とシェルターにやんばるや西表島から来たネコ60頭を飼育中。



東京女子大学教授

石井 信夫

1952年東京生まれ。東京大学大学院修了。農学博士。自然環境研究センターを経て2004年より現職。専門は哺乳類の生態と保全。



フリージャーナリスト

香取 章子

出版社勤務の編集者を経て現職。ペットをテーマに取材・執筆する。主著は「ペットロス」「猫への詫び状」（共に新潮社）、「犬と猫のための災害サバイバル」（学習研究社）など。



環境省自然環境局野生生物課
希少種保全推進室長

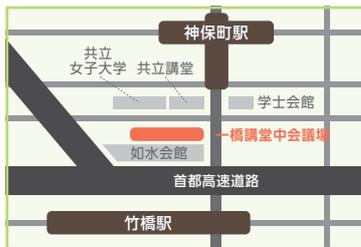
安田 直人

環境省本省、出先の事務所等で野生動物の保全、国立公園の管理などに携わる。

東京会場

日時：3月1日(日) 13:00開始(12:30開場) 16:00閉会
場所：一橋大学一橋講堂中会議室

〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋
2-1-2学術総合センター内
東京メトロ半蔵門線、
都営三田線、都営新宿線
「神保町駅」徒歩4分
東京メトロ東西線
「竹橋駅」徒歩4分



お問い合わせ 一橋大学一橋講堂 電話 **03-4212-3900**
利用案内窓口 (平日9時～17時)

大阪会場

日時：3月8日(日) 13:00開始(12:30開場) 16:00閉会
場所：花博記念ホール「陳列館ホール」

〒538-0036
大阪市鶴見区緑地公園
(花博記念公園鶴見緑地内)
地下鉄長堀鶴見緑地線
「鶴見緑地駅」徒歩5分



お問い合わせ 花博記念ホール 電話 **06-6915-3246**
(9時～17時半・月曜定休)

お問い合わせ

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室

電話 **03-5521-8353**